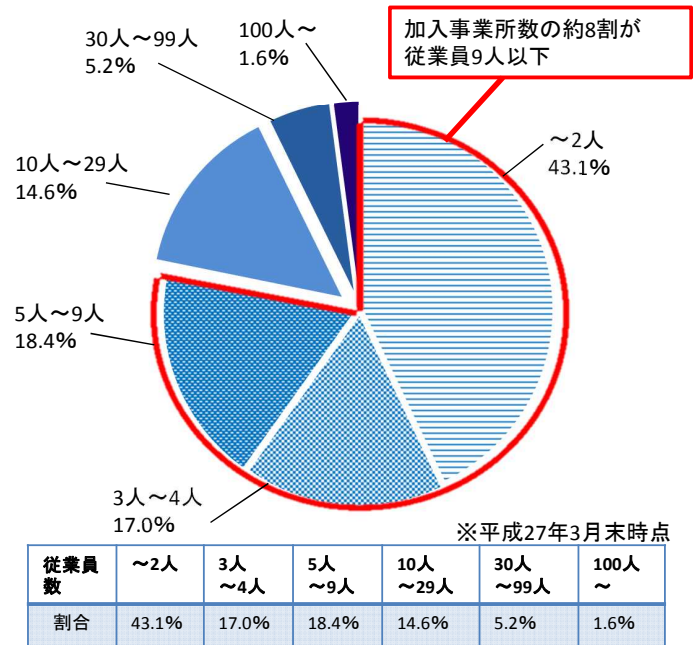
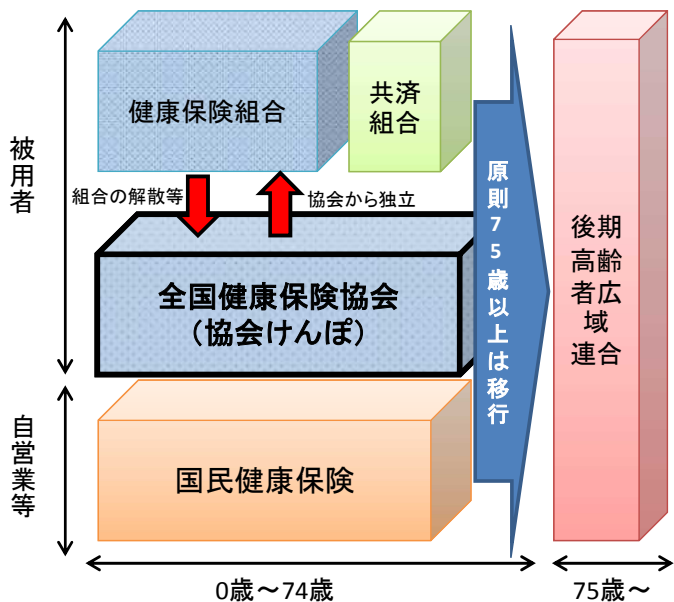


# 全国健康保険協会におけるがん検診について



## 全国健康保険協会の加入事業所・加入者数

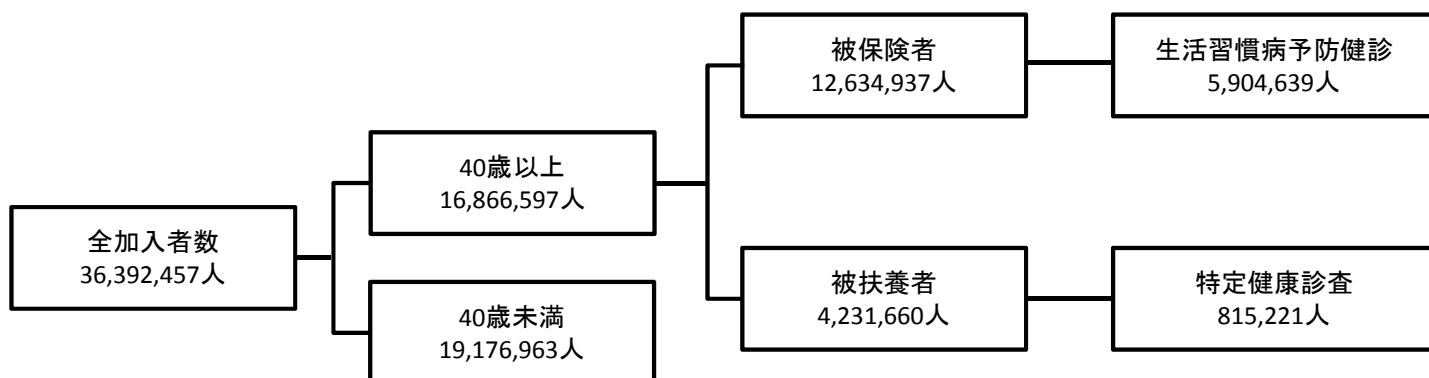
- ・加入事業所数は、約185万事業所。加入者数は約3,700万人。協会けんぽは、およそ国民の約3.4人に1人が加入する日本最大の医療保険者。
  - ・加入事業所は、健康保険組合を作ることができない中小企業・小規模企業が多く、事業所の約8割が従業員9人以下となっている。
  - ・加入者は、健康保険組合等に参加しない被保険者と被扶養者。健康保険組合が解散等の場合は、協会けんぽの加入者となる。
- 協会けんぽは、被用者保険の最後の受け皿。



# 平成26年度の健診実績

健診種別		受診者数	受診率
被保険者	生活習慣病予防健診※1	40歳以上 (35歳～39歳)	5,904,639人 (46.5%)※3
			46.7%※2
被扶養者	特定健康診査	815,221人	19.3%

※1 生活習慣病予防健診対象者は35歳～74歳の被保険者  
 ※2 生活習慣病予防健診対象者40歳～74歳の受診率  
 ※3 生活習慣病予防健診対象者35歳～74歳の受診率



## 全国健康保険協会の加入者が受診する健診

**■被保険者の健診**

○協会けんぽが実施している健診

**生活習慣病予防健診**

- ・根拠法は、健康保険法150条
- ・全国健康保険協会が被保険者を対象に実施する健康診断
- ・がん検診項目は以下のとおり

**便潜血反応検査、胸部レントゲン検査、胃部レントゲン検査※1、子宮頸がん検査※2、乳がん検査※3、腹部超音波検査(付加健診)**

※1 本人の希望により胃部レントゲン検査に代えて胃内視鏡検査の実施が可能  
 ※2 問診、膣脂膏顕微鏡検査(スミア方式(自己採取不可))  
 ※3 問診、視診、触診、乳房エックス線検査(内外斜位方向撮影。40歳以上50歳未満の対象者については、頭尾側方向撮影も併せて行う。)

事業者健診から生活習慣病予防健診への切替を  
促し、がん検診の受診を促進

○協会けんぽ提供以外の健診

**労働安全衛生法に基づく定期健康診断(事業者健診)**

- ・根拠法は、労働安全衛生法第66条
- ・労働安全衛生規則第44条に規定されたがん検診項目は以下のとおり

**胸部レントゲン検査及び喀痰検査**

**■被扶養者の健診**

○協会けんぽが実施している健診

**特定健康診査**

- ・根拠法は高齢者の医療確保に関する法律第20条
- ・**がん検診項目はない**

特定健康診査と市区町村のがん検診との同時  
受診を促進

○協会けんぽ提供以外の健診

**市区町村において実施されるがん検診**

- ・根拠法は健康増進法第19条の2
- ・各自治体において実施されているがん検診
- ・**基本的ながん検診は以下のとおり**

**胃がん健診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診**

# 協会けんぽの生活習慣病予防健診(被保険者)

## ■一般健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
○診察等 ○身体計測 ○血圧測定 ○尿検査 ○血液検査 ○心電図検査 ○便潜血反応検査 ○胸部レントゲン検査 ○胃部レントゲン検査	35歳～74歳	最高 7,038円

## ■平成28年度 生活習慣病予防健診(一般健診)の費用

協会けんぽからの補助 11,484円	自己負担額 最高7,038円	※健診費用の約6割を 協会けんぽが補助
最高 18,522円		

## ■付加健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
○尿沈渣顕微鏡検査 ○血液学的検査(血小板数、末梢血液像) ○生化学的検査(総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、アミラーゼ、LDH) ○眼底検査 ○肺機能検査 ○腹部超音波検査	一般健診を受診する ①40歳の方 ②50歳の方	最高 4,714円

## ■その他の健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
○乳がん検診(問診、視触診、乳房エックス線検査)	一般健診を受診する 40歳から74歳の偶数年齢の女性	50歳以上 最高1,066円 40歳から48歳 最高1,655円
○子宮頸がん検診(問診、細胞診)	一般健診を受診する36歳から74歳の偶数年齢の女性※36歳、38歳は子宮頸がん単独受診可	最高 875円
○肝炎ウイルス検査(HCV抗体検査、HBs抗原検査)	一般健診と同時受診	最高 612円

4

# 特定健康診査(被扶養者)

## ■一般健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
○診察等 ○身体計測 ○血圧測定 ○尿検査 ○血液検査	40歳～74歳	1,480円 (健診費用が8,000円の健診機関で受診した場合)

## ■特定健康診査の費用(※健診費用が8,000円の健診機関で受診した場合)

協会けんぽからの補助 6,520円	自己負担額 1,480円	※協会けんぽからの補助額は最高6,520円
総額 8,000円		

※健診費用の総額が8,000円の健診機関で受診した場合で算出。

※健診費用の総額は、健診機関ごとに異なる。

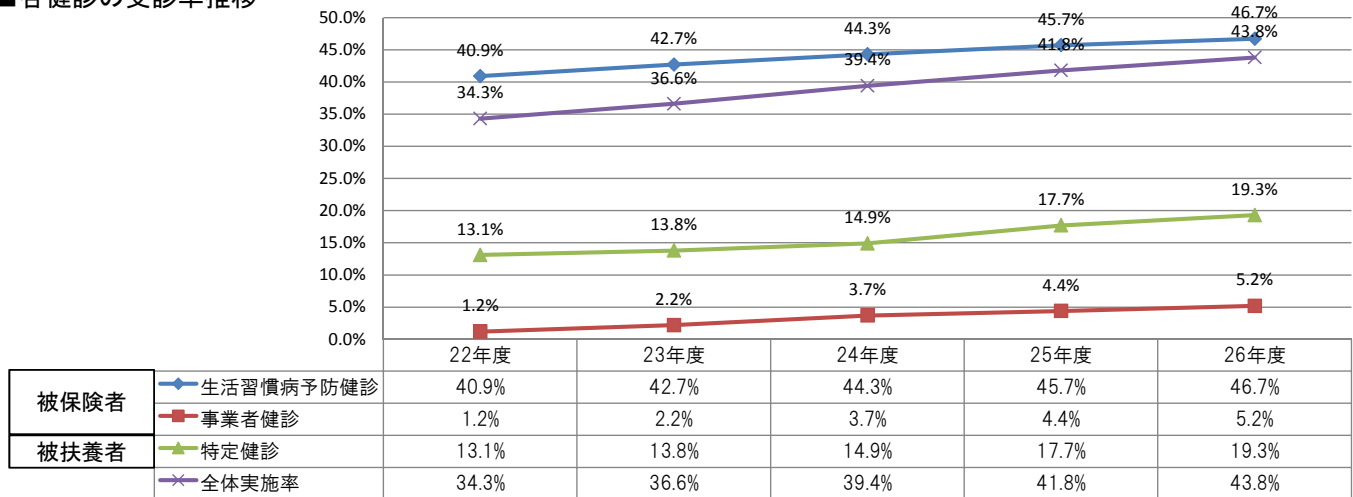
## ■詳細な健診

健診項目	受診対象年齢	備考
○心電図検査 ○眼底検査 ○貧血検査	40歳～74歳	・最高 3,400円を協会けんぽが補助する。 ・健診機関によっては別途費用がかかる場合がある。

5

# 各健診の受診率

## ■各健診の受診率推移

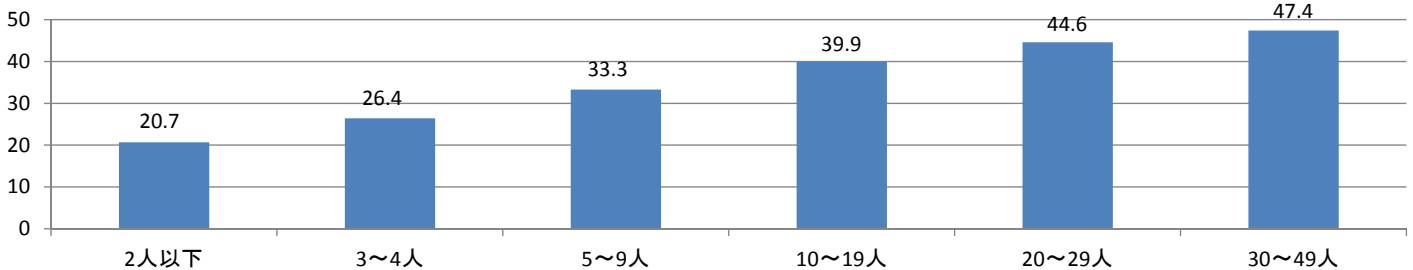


※生活習慣病予防健診は40歳から74歳の受診率

## ■事業所規模別受診率

### 生活習慣病予防健診受診率(被保険者)

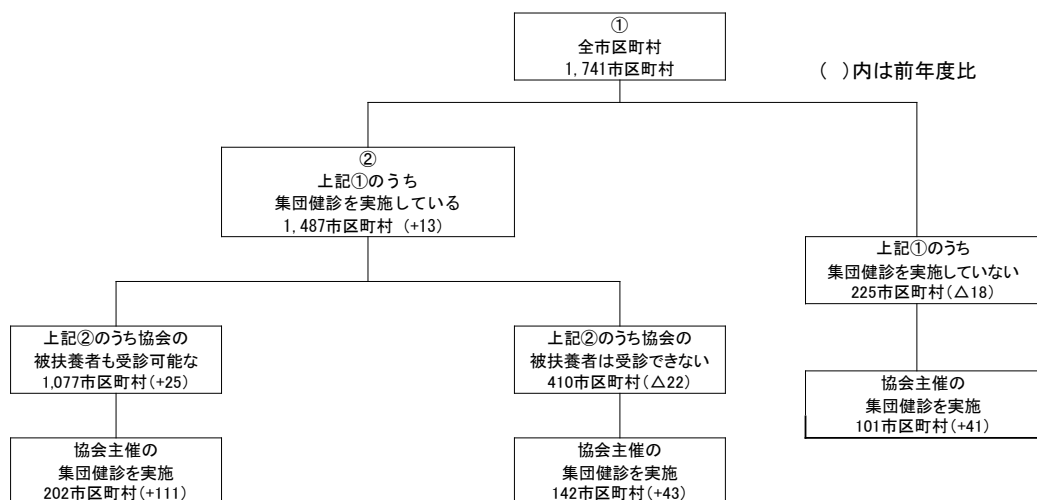
データ:平成22年度協会けんぽ加入事業所の全国の値



# 平成26年度 特定健診とがん検診の同時実施 (被扶養者)

自治体の集団健診やがん検診との同時実施は、26年度は1,077自治体(25年度は1,042自治体)で協会の被扶養者も受診が可能となった。また、同時実施が困難な地域には、協会が主催する集団健診を行い、地域を網羅して健診が実施できるよう努めている。

26年度は同時実施が困難な自治体を中心に協会主催の集団健診を445自治体で実施(25年度は250自治体)し、111,595人の方が受診(前年度68.1%増)された。



## 集団健診の状況 (がん検診との同時実施及び協会主催集団健診)

被扶養者	26年度実施件数	がん検診との同時実施		協会主催集団健診		集団健診割合
		人数	割合	人数	割合	
特定健康診査	815,221人	154,665人	19.0% (前年度 18.6%)	111,595人	13.7% (前年度 9.0%)	32.7% (前年度 27.6%)

# がん検診の受診率(被保険者)

## ■各がん検診の受診率

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
付加健診	対象者数(人)	855,868	893,296	922,389	951,823	996,277
	受診者数(人)	155,752	168,200	181,161	195,933	208,851
	受診率	18.2%	18.8%	19.6%	20.6%	21.0%
胃がん検診	対象者数(人)	13,922,110	14,064,608	14,310,841	14,462,005	14,922,746
	受診者数(人)	3,920,431	4,745,778	4,943,743	5,224,514	5,476,560
	受診率	28.2%	33.7%	34.5%	36.1%	36.7%
肺がん検診	対象者数(人)	13,922,110	14,064,608	14,310,841	14,462,005	14,922,746
	受診者数(人)	5,550,546	5,862,936	6,219,490	6,617,311	7,023,116
	受診率	39.9%	41.7%	43.6%	45.8%	47.1%
大腸がん検診	対象者数(人)	13,922,110	14,064,608	14,310,841	14,462,005	14,922,746
	受診者数(人)	5,088,134	5,369,912	5,699,033	6,069,069	6,438,690
	受診率	36.5%	38.2%	39.8%	42.0%	43.1%
乳がん検診	対象者数(人)	2,077,240	2,128,740	2,191,854	2,272,263	2,309,853
	受診者数(人)	377,007	400,385	415,945	444,273	459,519
	受診率	18.1%	18.8%	19.0%	19.6%	19.9%
子宮頸がん検診	対象者数(人)	3,719,510	3,758,783	3,814,815	3,949,257	3,999,643
	受診者数(人)	562,948	588,865	601,836	632,307	641,416
	受診率	15.1%	15.7%	15.8%	16.0%	16.0%

※付加健診の対象者数は、各年度の健診申込者抽出時の40歳、50歳の者の人数

※胃がん、肺がん、大腸がん検診の対象者数は、各年度の9月末時点の35歳から74歳の者の人数

※乳がん検診の対象者数は、各年度の9月末時点の40歳から74歳の偶数年齢の女性の人数

※子宮頸がん検診の対象者数は、各年度の9月末時点の20歳から74歳の偶数年齢の女性の人数